

関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2025～2026年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「自利利他 自らを研鑽し

社会に貢献するロータリー」

例会日：毎週木曜日 18時30分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会長：吉田 和也

副会長：高井 良祐

幹事：森 敬

会報：古田 育則

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL (0575)24-7332 FAX(0575)23-5278

前例会の記録 第 2206回

2026年 3月12日

岐阜新聞社・岐阜放送

中濃総局長 舌間隆博 様

卓話「スポーツ記事の読み方」

場所 関観光ホテル

担当 会長・幹事

本日のプログラム 第 2207回例会 2026年3月26日

「C.A 会長エレクト研修セミナー報告」 担当：次期会長・幹事

ロータリーソング「我等の生業」斉唱・・・⑨

*会長あいさつ 吉田和也 会長



本日のプログラムは次期会長・幹事による「C,A 会長エレクト研修セミナー報告」です。私の時は、名鉄グランドホテルで、10時30分から17時30分までみっちり研修が行われ、その後懇親会と1日かかりで、とても短時間で色々勉強し大変だった覚えがあります。又、第43期は辻ガバナーで、三重県の津市で開催され、この時も一日かかりの研修で、そ

の後懇親会も開催されたのですが、次の日に用事があり、どうしても宿泊が出来ず、大変心残りでしたが飲まずに帰宅した覚えがあります。この会長エレクト研修セミナーの行い方は、その時のガバナーの方針や社会状況によってさまざまですので、今回はどのような研修が行われたか発表を楽しみにしております。土屋会長エレクトにおかれましては、私同様2回目の会長を引き受けていただき、大変ご苦勞でございますがよろしく願いいたします。

さて話は変わりますが、先日の3月20日は春分の日で春のお彼岸でした。みなさまご承知かとは思いますが、春のお彼岸とは、春分の日を中日として、前後3日間を含む計7日間のことをいうそうです。仏教では、西

の方角に「西方浄土(さいほうじょうど)」と呼ばれる極楽浄土があると考えられてきました。三途の川の向こう岸(彼岸)にあの世、こちらの岸(此岸:しがん)にこの世があり、それぞれ悟りの世界と煩惱の世界に分かれています。このお彼岸の期間に仏教修行を行うことで悟りの境地である浄土の世界(彼岸)に至ることができるという思想が生まれたそうです。また、三途の川を挟んで此岸は東、彼岸は西に位置し、お日様が真東から上り真西に沈み昼夜の時間がほぼ同じとなる、春分と秋分は、あの世とこの世の距離が最も近くなり、思いが最も通じやすい時期とされ、ご先祖様を想い、感謝とともに手を合わせ、自分自身を見つめなおす大切な期間とされています。私は、煩惱まるけで、何回生まれ変わってもとても悟りを得ることなどできそうにありませんが、このお彼岸に、ご先祖様に感謝の思いを込めお墓参りに行ってきましたが、みなさまはお出かけになられましたでしょうか？

そのお墓参りの時にすでに桜がさいておりました。今年は春先の気温が高い影響で、全国的に桜の開花が早く、3月16日に岐阜・高知・甲府で開花宣言が出され、岐阜では平年より9日も早い開花だったようです。桜の開花は年々早まる傾向にあるらしく、入学式の時に花があると良いと思いますが、今年はちょっと無理なような気がします。すでに満開となっている桜もありますので、みなさま、今年のお花見は早めにお出かけになられた方が良さそうです。4月1日に3クラブ合同花見例会があります。その時まで花がもってくると良いと思いますが、3クラブのみなさまと親睦を深めながら楽しい花見例会が行えたら良いと思っております。それでは本日の例会よろしくお願いたします。

*本日のプログラム

「C.A 会長エレクト研修セミナー報告」



次期会長 土屋 敏幸
前回5年前はコロナ禍だったので、事務所のPCで研修を受けました。今回は早い時期にプレPELSラーニングセンター推奨プログラム一覧が送られてきました。研修日3/14までに『ク

ラブ会長(中級)』『クラブ会長の基本』を勉強することが必須とありました。MY ROTARY から入るのですが、パスワードが違うのか中々入れません。竹内さんをお願いして、パスワード変更の届出をして何とか入ることができました。入ってビックリ、勉強しなければいけない量が非常に多かった。仕方がないので、あまり読むことなく課題をやりました。有難かったのは、1回やると答えが分かり、やり直しが早くできることでした。何とか研修日前に済ませることができました。

当日は関シティターミナル 8:03 発の高速バスに乗り、9:15 頃名鉄バスセンターに到着。名鉄グランドホテルで10時受付だったので、一番に受付とポリオ募金を済ませました。今回から会長エレクトトレーニングセミナー(PETS)からラーニングセミナー(PELS)に変わっています。今までのような一方的なセミナーではなく、意見交換を取り入れた話合うセミナーが主流になっていくとのことでした。10:30 点鐘で開会セッションが11:00 まであり、11:00 から第1セッション。河合ガバナーエレクトによるRIメッセージ・地区活動方針の講義を受けました。今回のRI会長は、ナイジェリアリバーズ州のオラインカ・ハキーム・ババロラ氏です。メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。「変化」と「インパクト」は同じではないということ覚えておくことが大切。変化は始まりに過ぎない。インパクトこそが永続すると書いてあります。

スピーチの中で印象に残っている部分を転記します。私が若きローターアクトとしてロータリーに入会しようとした時、私は抵抗に遭いました。ある日、クラブの昼食例会に行きました。若いローターアクターだった私を見てクラブの会長は「ここで何をしているんだ?」と言いました。ロータリーに入会するためだと答えました。会場にいた全員が振り向き私を見ました。彼は「何という厚かましきだ!ただ入会できるわけがないだろう。招待が必要だ。」と言った。そこであきらめることもできたが、私はこう言い返しました。「子どもが親の家に入るのに招待が必要だと思いませんでした。」会場が沈黙に包まれる中、一人のロータリアンがこう声を上げました。「インカ、私が君を推薦するよ。」こうして私はロータリアンになったのです。当時より良くなつたが一部のクラブは、世界をオープンに受け入れるどころか今

も閉ざされたままだ。若い人の意見が尊重されなかったり、考えや背景が異なる人が歓迎されなかったりする。このような状況では、入会見込みのある人々を入会前に失ってしまう。ロータリーにはもっと多くの会員が必要。理事会は、2030年までにロータリアン125万人・ローターアクター12万5千人にする会員増強目標を掲げている。河合ガバナーエレクトはRI会長エレクトメッセージを踏まえ、地区方針を「未来につながるロータリー」と決めました。これは奉仕の成果が確かなインパクトとして社会に認識され、継続的に発展してゆく姿です。行動計画に掲げられた四つの優先事項-「インパクトをもたらす」「基盤を広げる」「かかわりを促す」「適応力を高める」を意識することで奉仕活動の質と持続性を一層高めていくことを目指すとのこと。

*公共イメージの向上一地区とクラブ、そして各委員会が連携し効果的な広報活動を展開することでロータリーブランドを高めてゆく。

*会員増強と会員基盤の拡大ー各クラブ会員増1名

* 職業奉仕の理念と再認識ーロータリーの原点である職業奉仕への理解を深める。

* 米山奨学事業への参加と支援奨学生支援・寄付推進一人あたり12000円以上

* 青少年育成の推進

*ロータリー財団の積極的活用と寄付への理解促進一年次基金寄付:一人あたり150ドル以上・ポリオブラス寄付:一人あたり30ドル以上・恒久基金寄付:1クラブあたり1000ドル以上

*ラーニングによるクラブの活性化

1クラブ研修リーダーによるラーニング型例会の推進

2MY ROTARY100%登録の達成

3ラーニングセンターの積極的活用による自己研鑽

*奉仕プロジェクトの推進

・国際奉仕への理解促進と意見交換

・グローバル補助金 大規模プログラム補助金の活用・奉仕プロジェクト(DCS)補助金の適正管理

・ロータリー財団部門との連携

*ロータリーカード活用の強化

・クラブカード 地区委員会カードの100%保有と利用推進

個人カード保有の推進

*クラブ優秀賞への積極的チャレンジ

各クラブが目標を明確にし、クラブ優秀賞へ積極的に抽選する。

12:00から1時間、昼食と昼休み。私の席は東海北陸道グループ4名と岐阜東濃グループ5名の席でした。美濃RCは土本さんで、5年前一緒に会長を務めました。彼は3回目の会長だそうです。各務原RCは医師の永田さんで若い方ようです。関RCは株式会社キョウワ社長の白田さん。彼の父が関市の獵友会会長で、私の亡父も上之保村時代の獵友会会長をしていたので話が弾みました。彼も若いです。また、1月に石原妙生さんとお邪魔した加賀バストガバナーも出席されていたので、ご挨拶させていただきました。今回も優しい受け答えをしておみえでした。50周年の講演が楽しみです。13:00からまず玉野ガバナーの説明の後、ガバナー補佐と会長エレクトのラーニングセミナーが始まりました。別室に移動し、12テーブルにグループ分け、ガバナー補佐と会長エレクトで総勢7人です。私の7グループは見田村ガバナー補佐(岐阜B)がファシリテーターで寺倉(桑名中央)さん、女性の柴田(鈴鹿西)さん、今野(津南)さん、飯田(多治見西)さん、大村(高山西)さんと私です。テーマは「クラブで何がやりたいのか」でしたが、私を含めて皆さんがクラブの現状とそれを打開するのにどうしたら良いのかという話に終始したような気がします。多治見西・高山西以外は、会員30名未満だったので、皆さん同じような問題を抱えておみえでした。比較的会員数の多い多治見西でさえ会長兼会長エレクトで、2年連続の会長とのことでした。幹事も2年連続で、この幹事さんが今の公共イメージ委員会の委員長です。次年度は委員長をやめるとのことでした。以前、多治見で委員会の忘年会をやったこととお話しすると、動画を観たとのこと。ニヤッと笑っていたので、私のマズイところをみられたのかもかもしれません。あー恥ずかしい。まとめとして、今の活動を見直して、みんなでディスカッションし、より会員が楽しめる行事にしていこうと会員増強につながるのではないかとおもいます。今回はこの第2セッションがメインでした。15:00から16:00まで第3セッションで、各委員会委員長の発表でした。「各委員会の活動方針」を各

5分程度お話しされました。私の所属する公共イメージ委員会は森田委員長ではなく、澤田委員が発表されました。さすがにこの頃になると、眠気との戦いでした。なんとかいびきをかかなくて済んだと思います。16:15から閉会セッションに入りました。地区大会について・地区会計について・修了証書授与・事務連絡点鐘という順番でした。

その後、玉野ガバナーによるクラブ地区臨時決議が行われました。地区賦課金の改定で、1名あたり年額19730円から23230円(+3500円)増額したいとのこと。決議により、ほぼ全員が手を上げられ決定となりました。17:00から待ちに待った懇親会が始まりました。多くの方々とお話をさせて頂きましたが、飲酒もビールから始まり、焼酎(芋と麦)ウィスキーのソーダ割・水割、赤ワイン等、全種類を飲ませて頂きました。とても美味しかったです。あと、冷酒や熱燗などがあれば良かったのにね。少し残念。関市に戻ってから、関シテイターミナル近くのスナックで歌をたくさん歌って帰りました。

今回参加して、いろんな話を聞きました。年会費が30万円以上のところが結構あること。これは行事を続けていく為に必要な金額なのでしょう。

逆に各務原RCのように16万円だったり。これは会員増強の為なのかな。皆さん試行錯誤してなんとか頑張っておられます。あと印象に残ったのが、女性が非常に多かったことです。当クラブは1名もいませんが、今後の会員増には女性の入会が鍵を握るような気がします。なかなか難しいこととは思いますが、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

まだ関中央ロータリークラブのテーマを決めてはいませんが、『原点回帰みんなで楽しもう』にしたいなと思っています。楽しい例会、無理のない楽しい活動をすれば、自然と人は集まってくるのではないのでしょうか。

*出席委員会

会員数26名、本日の出席16名です。

*ニコボックス委員会

19イントのご投函ありがとうございます。

*その他の委員会報告

*幹事報告

<次例会の案内>

第2208回 4月1日(水)

「3RC 合同花見例会」

担当:会長・幹事・親睦活動